



校報

水糸者

No. 1258

元年度・第117号

『財産』となる家庭学習を！

「第2回小中連携家庭学習強化週間」が始まりました

「小中連携家庭学習強化週間」については、11月15日付の文書の他に7月16日の校報1198号でも紹介しているとおり、本校と角浜小、種市中の3校で取り組んでいるものです。

今回の取り組みについては先日の文書でも詳しくお知らせしているとおりです。本校の家庭学習については、子ども達の実となり、力となるために、これからもしっかりと頑張っていかせたいと考えています。

前回（7月）の「小中連携家庭学習強化週間」では、『ノーメディア（10の約束）』の達成率が全体で84%と、今までの最高の結果となっていました。ただ、めやすの学習時間をクリアできている児童は、全体で62%にとどまっていました。家庭学習時間の短さとゲームやスマホの長時間使用は 昨年度同様の傾向という、本校児童の芳しくない実態も明らかになっています。

家庭学習の継続・頑張りは、学力向上だけでなく、自立や自律の心を養い、脳の健全な発育にも大いに役立つもので、一生の財産となるものです。『予測不能な時代』ともいわれる、現代を生き抜いていくためにも、自らが立てた計画に従ってしっかりと学ぶ習慣、黙々と書く習慣など、進級・進学、就職後に困らない『学びの姿勢と構え』を、学校と家庭で連携をしながら、この「家庭学習強化週間」だけは最重点でしっかりと学ばせていきましょう。

調べ物を行う時、辞書よりもスマホやパソコンの方が早くて多くの情報を一気に入手できて便利です。だからといって、子ども達がいつでもスマホやパソコンを辞書代わりに使うことは、小学校期の子ども達にはお勧めできないことです。

それは、辞書を使い手間をかけながら一つ一つ調べながら理解していく過程と異なり、いつも全てをスマホやパソコンだけの使用では、脳が活性化されないからです。『脳の健全な発育』については、今までも何度も校報に掲載してきましたが、この時期の子ども達は脳がどんどん発達していきます。

脳に正しい刺激を与える学習方法（書く・読むなど）は、ますます大切にされなければいけない健全な発育にとって『不易の学習』なのです。

AI時代が目の前まで迫っている現代は、小学校のうちから『自ら学ぶ姿勢や意欲、学び方』を身につけておくことが大切です。

その力は、中学、高校…と進学、就職した時にも確実に役立っていきます。学校でもご家庭でも「正しく学ぶ習慣」をしっかりとつけておきたいものですね。



♪はっば(8×8)にむし(64)がいる♪

この時期、2年生は大きな試練を迎えます。

教室で今まで学んで来た九九算の成果を試す最終テストが校長室や職員室で、来週あたりから始まるからです。

毎年、どの子も緊張した面持ちで校長室や職員室に入りますが、普段の学習の成果をしっかりと発揮し、合格印をもらおうと、子ども達はみな笑顔になります。

今年もたくさんの笑顔が見られる事でしょう。



教室入口に掲げてある「かけ算」に挑戦中の2年生



関わり合いながら学びを進めている2年生

九九算を全て暗唱できた時の喜びや初めてリコーダーで曲が吹けた時、初めてプールで25m泳げた時、初めて逆上がりができる時、初めて100点満点をとった時…。

保護者の皆さんもその時の場面や感動はまだ記憶に鮮明に残っていることと思います。

私が小学生の時には、種小オリジナルの「面積の歌」と「かけ算の歌」を駆使し、かけ算をクリアしたことをまだしっかりと覚えています。

そのような、初めて出会う場面での「成功体験」は、次への学びに対する大きな意欲と自信となっていくものです。

1つ1つの事柄と一人ひとりの「できた!」、「わかった!」を大事に、今日も種小はしっかりと取り組んでいきます。

なお、「面積の歌」と「まちがえやすい九九算の歌」は、本校のホームページ上にアップしてますので、ぜひ聴いてみてください。



一輪車を10台寄贈していただきました

この度、日本一輪車協会より本校に一輪車を10台寄贈していただきました。先日の全校朝会で紹介した後、さっそく子ども達は使い始めています。本校の子ども達は一輪車が大好きで、校庭では新しい一輪車を乗り回す多くの子どもの姿でにぎわっています。一輪車は学童期に急速に伸びて、その時期以外はあまり伸びない、巧緻性の有無に代表される「神経系」の刺激と発達に大変良い運動です。遊びを通して、健全な身体を育んでいる種小っ子です。

